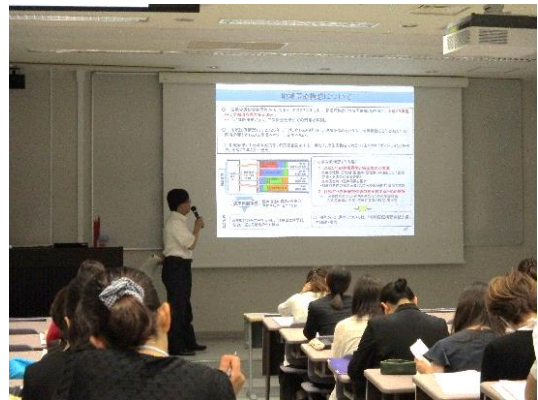


## 東京医療保健大学、千葉県主催の看護職員実習指導者講習会を開講

学校法人 青葉学園が運営する東京医療保健大学（本部：東京都品川区、理事長：田村哲夫、学長：木村哲、以下本学）は、2018年7月2日（月）より千葉県主催の平成30年度看護職員研修事業「実習指導者講習会（40日間コース）」を船橋キャンパス（千葉県船橋市）にて開講いたしました。



2018年4月に開設した本学の千葉看護学部（船橋キャンパス）は、地域包括ケアを先進的に行う船橋市からの協力も得て、地域完結型の医療について総合的・実践的に学べる環境を整えております。これにより、地域の特性や政策を理解し社会のニーズに応える、地域医療・地域包括ケアの看護実践力を育成しています。

本講習会は、看護基礎教育について理解を深め、実習指導に必要な知識と技術を習得することを目的としており、効果的な実習指導ができる人材の育成を目指しております。期間は、7月2日（月）～7月31日（火）と9月3日（月）～10月2日（火）の計40日間で、教育及び看護と実習指導に関する講義・演習からなる240時間の講習を実施いたします。

受講者は、医療施設などで実習指導に携わる、もしくは携わる予定のある看護師・助産師49名で、スタッフから副師長を含む実務経験4年～20年以上の幅広い層が、千葉県内の37病院から参加しています。なお、講習修了者には千葉県から修了証が交付されます。

### ■平成30年度 看護職員研修事業「実習指導者講習会（40日間コース）」概要

- ・実施期間： 前期 7月2日（月）～7月31日（火）  
後期 9月3日（月）～10月2日（火）
- ・実施場所： 東京医療保健大学 船橋キャンパス（千葉県船橋市海神町西1-1042-2）
- ・受講資格： 1) 実務経験4年以上の保健師・助産師・看護師  
2) 保健師・助産師・看護師または准看護師養成所の実習施設で実習指導に携わる者  
3) 将来、2)となる予定にある者
- ・主催： 千葉県

- ・目標: 1) 自己の看護実践を振り返り看護観を深める
- 2) 実習指導の基礎となる教育的素地を養う
- 3) 看護基礎教育における臨地実習の位置づけを理解する
- 4) 実習指導の基本と実習指導者の役割を理解する
- 5) 実習指導の展開について理解を深め、その実際を学ぶ

## 【東京医療保健大学とは】

理事長	: 田村哲夫
学長	: 木村哲
設立年度	: 2005年
本部	: 東京都品川区東五反田
キャンパス	: 五反田キャンパス、世田谷キャンパス、国立病院機構キャンパス、国立病院機構立川キャンパス、船橋キャンパス、雄湊キャンパス、日赤和歌山医療センターキャンパス（予定）
学部(学科)	: 医療保健学部(看護学科、医療栄養学科、医療情報学科)、東が丘・立川看護学部(看護学科)、千葉看護学部(看護学科)、和歌山看護学部(看護学科)
専攻科	: 助産学専攻科
大学院	: 医療保健学研究科、看護学研究科
学生数	: 2,317名（2018年4月現在）

## 大学メッセージ

### 前を向く、医療人づくりを、追求する。

超高齢社会を迎えた日本のこれからの医療は、大きく変化していきます。

医療人は、現場に出ても、常に学び続ける姿勢を保ち、さまざまな難題を解決していかなければなりません。

大学での学修を糧に、自らの意思を持って考え、行動できる人こそが一人前の医療人として、まわりからも患者さんからも信頼されるのです。

東京医療保健大学の4年間は、前を向き、歩み続ける力を身につける時間。変化を恐れず、変化こそチャンスとして自分の力に。

困難なときこそ、顔をあげ、一步を踏み出す。

もっと前へ、もっともっと先へ。

あしたに向かっていくその姿が、未来のあなたにつながっています。